

# 広島市立伴中学校

〒731-3161 広島市安佐南区沼田町伴3759 電話082-848-0017  
ホームページアドレス <http://www.tomo-j.educity.hiroshima.jp/>

校長 財津 伸子

生徒数 897名 教職員数 50名

学校紹介 学区は古くから農村地帯として発展してきたが、近年開発が進み多くの住宅団地が点在し、生徒数も増え続けている。学校教育目標「豊かな心を持ち、ねばり強く努力する生徒を育成する」を実現するため、基本的生活習慣を身に付け、自ら健康管理できるよう食育に取り組んでいる。また、農家や食品産業のある地域の特性を生かして実践を行っている。

## ■食育を通して目指す子ども像

伴中学校では、小中学校の系統立てた食育の推進を図るため、中学校区で実践研究し、小中学校の「食に関する指導の目標」を策定した。

学校教育目標：豊かな心を持ち、ねばり強く努力する生徒を育成する

伴中学校

食育目標：食事の重要性を理解し、自ら健康管理できる生徒の育成

食に関する指導の目標	小学校			中学校		
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
食事の重要性 社会性	食事のマナーを知り、みんなと楽しく食べることができる	好き嫌いなく食べることができる	食べものを大切にし、好き嫌いなく食べることができる	自分の食生活を意識して、規則正しく食事ができる	食事を通して豊かな心と望ましい人間関係をはぐくむことができる	
心身の健康 食品を選択する能力	食べものに興味関心を持ち、食べものの名前がわかる	食事に関心を持ち、健康と食生活のかかわりを理解することができる	毎日の食事に関心を持ち、望ましい食事を選択できる	毎日の食事に関心を持ち、望ましい食事を選択できる	食環境とのかかわりについて理解し、よりよい食生活ができるよう自己管理能力を身につける	自分の生活や将来の課題を見つけ、食生活を見直し健康を保持増進できる
感謝の心 食文化	食べものを大切にする	生産者や自然の恵みに感謝して食べることができる	食文化や食品の流通・消費などについての理解を深める	食文化や食品の流通・消費などについて自分の食生活との関連を考えることができる		

## ■取組みの内容

### 1 学校全体による食に関する指導

- 教科等における食に関する指導[解説1]
- 給食時間における食に関する指導
- 小中連携した食に関する指導計画作成



### 2 家庭・地域との連携

- 生徒・保護者実態調査実施
- 試食会・食育授業参観の実施
- 地域公民館との共催事業[解説2]  
(食育講演会・ふるさとまつり・親子料理教室)
- 食育ゲストティーチャーの活用
- 給食への地場産物の活用
- 食育だよりの発行

### 3 教職員の連携強化

- 研修会の実施[解説3]
- 栄養教諭と連携した食に関する指導

## 取組みの成果

「食に関する指導全体計画」の作成により、系統立てた指導を実践するよう努めている。生徒は、食育を通して自分の食生活を見直すことを、意識し始めている。また、小学校や地域と連携することにより、特に地場産物を活用した給食への取り組みを推進することができた。今後にこの成果を生かし、指導の充実を図りたい。

## ■学校からのひと言

平成19年度文部科学省「栄養教諭を中心とした学校・家庭・地域の連携による食育推進事業」実践中心校

## 解説 1

教科における食に関する指導

## オリジナル給食メニューを考えよう

## 1年 技術家庭（家庭分野）「バランスのとれた食生活を考えよう」

献立作成のポイント（栄養のバランス・旬の食材・地場産物など）について学習し、班で学校給食の献立を考え、クラスごとの代表献立を決定した。

大学いも チンジャオロースー

ごはん ミルク

ワンタンスープ

生徒の考えた給食の献立（例）



## オリジナル給食メニューの作成（9回）

## 学校給食（1年生全クラス分の献立を立てて給食を実施）

地場産物…小松菜・はくさい・だいこん・もやし・醤油を活用

小学校との連携…伴小学校2年生が総合的な学習の時間に育てたさつまいもを譲り受けて活用

実施後の生徒の感想「私たちの班の給食が出てうれしかった。もう少しいろいろを考えればよかったです。」

## 解説 2

地域公民館との共催事業

地域公民館である沼田公民館と共に事業を行うことにより、小中学校の保護者や地域の人々への啓発に努めた。

## 食育講演会「家族で楽しく食育」



沼田公民館とともに企画し、地場産物の家庭での活用や簡単な朝食作りをテーマに講演会をひらいた。「地元の野菜を食卓に取り入れたい」等の感想があった。



ふるさとまつり「学校給食の試食」

## ふるさとまつり

沼田公民館で行われる「ふるさとまつり」に参加し、学校の食育の様子を写真などで紹介するパネル展示や学校給食の試食を行った。地域の方に学校給食に关心を持ってもらうよう啓発することができた。

## 解説 3

研修会の実施

学区の小学校と連携し、小中学校9年間の「食に関する指導全体計画」を作成し、系統立てた指導を行うこととした。各校で「食に関する指導」の研究授業、校内研修会を実施した際、他校の教職員とともに参加した。学校における食育の必要性に対する意識が高まり、共通認識を図ることができた。この成果を年間計画に生かし、系統立てた指導の充実を図った。

また、食に関する指導の取り組みをまとめたりーフレットを作成し、家庭地域へ配付した。

小中合同研究会での研究授業  
1年 技術家庭（家庭分野）

